

脳神経外科専門医に聞く

富山ろうさい病院

脳・脊髄神経外科部長

なかじま よしお
中島 良夫



脳神経外科医による脊椎手術



脳神経外科も「脊椎手術」をやっています。

ウィキペディアによれば、「脳神経外科学は、脳、脊髄、末梢神経、脊椎などに関する臨床医学の1分野」となっており、脳神経外科は「脳」だけではないんです。今回は、①内視鏡下腰椎椎間板ヘルニア摘出術（PED法、ペド法）と、②小切開頸椎椎弓形成術を紹介します。

① 内視鏡下腰椎椎間板ヘルニア摘出術（PED法、ペド法）

御存じのとおり、腰椎椎間板ヘルニアが起ると、腰痛や下肢の痛み・しびれがきます。症状が強い場合や長引く場合は、ヘルニアをとることで症状が改善します。

内視鏡下ヘルニア摘出術では、正中から8～9センチのところから、斜めに椎間板へ向かいます。キズの大きさは9ミリ～1センチです。筋肉や骨をいためることがないので、術後の痛みが少ないのが特徴です。しかし、この方法では摘出できないヘルニアもありますので注意が必要です。顕微鏡法やMED（エム・イー・ディー）法も良い手術法と考えます。

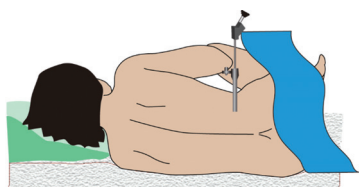


図1 横から内視鏡を入れているところ

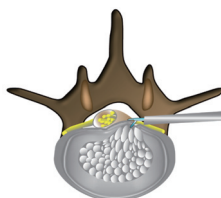


図2 ヘルニアを横から
とっているところ



図3 ヘルニアをとっている時
の内視鏡画像

② 小切開頸椎椎弓形成術

変形性頸椎症などにより、脊髄が圧迫されて、手や足がしびれる、歩きづらい、手が使いづらいなどの症状の時に、脊髄の圧迫を取り除く目的で行います。キズの大きさは4-5cmで、今までより手術後の首の痛みが軽減されました。

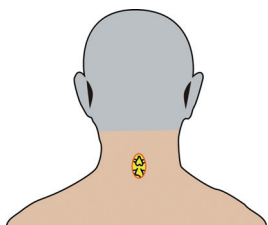


図4 4～5センチの小切開

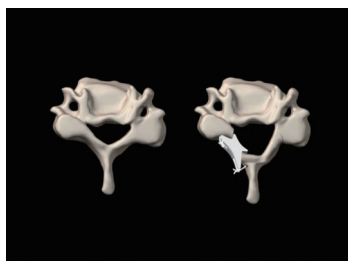


図5 片方に人工骨を入れ、
脊柱管を拡大する



図6 人工骨を4個入れた
レントゲン

発行：独立行政法人労働者健康安全機構富山ろうさい病院 地域医療連携室

富山ろうさい病院だよりは、当院ホームページにも掲載しています。

【連絡先】 0765(22)1280 (病院代表)

E-mail: chiki2@toyamah.johas.go.jp